

## 工事・業務における入札手続上の不具合事例について

※平成25年度において発生した主な不具合事例

### (工事)

1. 同一の配置予定技術者にて複数案件申請しており、一方において落札決定通知を受理したにもかかわらず、他の案件において配置予定技術者の重複を避けるための他工事落札による申出書の提出を怠った。結果、双方の落札決定通知を受理してしまい、後者の案件が契約不調となった。  
その結果、当該入札参加者は指名停止措置を受けることとなった。
2. 入札書提出後において入札心得の無効事由に該当するとして辞退を申し出たが、無効事由には該当しないため、承諾されなかった。
3. 工事費内訳書の不備による無効事例。
  - ①細別の積み上げ合計と種別に記載されている金額が異なっている。
  - ②細別に対する金額が未記載となっている。
  - ③数量総括表に計上されるべき項目が記載されていない。

※工事費内訳書の無効事例についてはこちらを参照下さい。

### (業務)

1. 直接雇用の証明書（保険証の写し等）などの申請書における必要書類の添付漏れ。
2. 件名が違う、提案事項に社名を記載などの申請書における記載漏れ、記載ミス。